快適な住みよい まちづくりをめざして

都留市美化推進協議会スタート

かけがえのない自然を保護し、清潔な環境を後世に伝えてゆくことは、現代に生きる私達の重大な責務です。

かって、城下町として栄えた本市は、その伝統と文化を今に引き継ぎ、落ちついたたずまいを残しています。また、都留文科大学を中心とした文教都市の実現に向けて、環境整備などに力を注いできたため、自然との調和、環境保全という点では、けっして他の市町村にひけをとってはいません。

しかし、生活様式の多様化、定住圏の変動などに伴なって、環境美化に対する住民の意識は、統一性が失なわれがちな現状です。

▲谷一小校庭に集まった市民

そこで、六十一年山梨国体への対応も踏まえるなかで、美しい自然と清潔な環境作りに、全市をあげて取り組もうという動きが起り始めました。

こうしたなかで、七月二十五日谷村第一小学校校庭に、約千余名の市民の参加を得て、都留市美化推進協議会結成大会が盛大に開催されました。美化運動についての協力依頼を訴える高部市長のあいさつに続き、本協議会会則の朗読協議会結成の確認が行われ、ついで役員が選出されました。

また、この美化推進運動にちなんで、市内小学生を対象とした、図画、習字の作品コンクールが催されましたが、応募作品千百五十四点のなかから選考された特選二十五点について、表彰状の授与がありました。

こうして結成大会も盛り上るなかで、健康で明るい、清潔なまちづくりに資するため、衛生思想を自覚して、公衆衛生の向上を図ることを主旨とする「環境美化市民宣言」が満場一致で採択されました。この大会宣言の採択に伴ない各種団体による決意表明が力強く行なわれました。自治会連合会渡辺徳会長、連合婦人会安田君代会長、谷村第一小学校加藤大介児童会長の三人による真剣な訴えに、参加者一同は、この美化推進に寄せる思いを新たにしていました。

美化推進運動に寄せて 善意の贈りもの届く!!

都留市美化推進協議会が設立された七月二十五日早朝、谷村町駅、都留市駅などで、乗降客に環境美化を訴え、高部市長をはじめ美化推進協議会設立関係者多数がティッシュペーパーなどを手渡しました。この品物は市内の各事業所や協力団体などが、美化推進に役立ててほしいと寄贈したもので関係者は美化推進に寄せる人々の善意をさっそくこの朝活用させていただいたわけです。この他、美化運動のキャッチフレーズを染め込んだ横断幕やくずかご、寄付金なども贈られました。午後からは美化推進協議会設立大会に参加した人々による市内パレードで、たくさんの市民にこのティッシュペーパーが配られました。

まちぐるみで美化運動に取り組もうとするたくさんの皆様の善意に感謝いたします。

環境美化市民宣言

生活水準の向上と産業構造の激変に伴い、汚物の排出は、質・量ともに多様化してきたが、その中で、健康で文化的な生活を営むためには、市民一人一人が常に衛生思想を自覚し、もって公衆衛生の向上を図らなければならない。

私達都留市民は、ごみ、危険物、その他汚物を河川等へ投棄するなどの不衛生な処分は絶対にしないよう心に銘じ、健康で明るい、清潔なまちづくりに努めるものとする。

そして、都留市の誇る自然環境を永遠に美しく保存し、人々に心の潤いとやすらぎをもたらすよう努めるものとする。

右宣言する。

昭和五十六年七月二十五日

都留市美化推進協議会

都留市美化推進協議会発足特集